

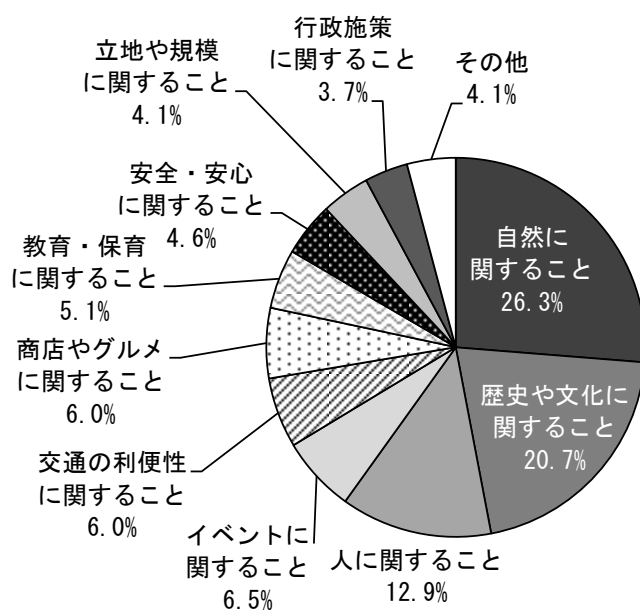
## 第2回 総合計画策定ワーキング・グループ「考える会」

### 1 第1回ワーキング・グループのまとめ

第1回のワークショップでは、美濃市の良いところについて、KJ法（ふせんを使った会議形式）で意見交換を行いました。

8つのグループの意見を整理すると、良いところとして 217 件の意見が出されました。多かった意見をまとめると、それぞれ次のようになっています。

#### ■美濃市の良いところ 意見数:217 件



#### ■主な意見（抜粋）

順位	区分	意見数	主な意見
第1位	自然に関すること	57	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 空気がきれい</li> <li>• 山、川、畑、田があり、自然豊かなところ</li> <li>• 清流の川があり、緑豊かな自然</li> <li>• 板取川、長良川 眺めるだけでいやされる …等</li> </ul>
第2位	歴史や文化に関すること	45	<ul style="list-style-type: none"> <li>• うだつの上がる町はじめ、歴史的伝統建造物がある</li> <li>• 世界に誇れる美濃和紙、世界遺産の鮎、曾代用水</li> <li>• 美濃町の町並が情緒がある</li> <li>• 歴史文化を生かしている …等</li> </ul>
第3位	人に関すること	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 65歳以上の方が元気</li> <li>• いい人が多い</li> <li>• サークル、ボランティアが多い</li> <li>• 人とのつながりが濃い</li> <li>• 市民間に思いやりがあり、協力的である事 …等</li> </ul>

第4位	イベントに関すること	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あかりアート展が毎年楽しみ</li> <li>・イベントが多い（みの祭り、あかりアート等、ひんここ祭）</li> <li>・ツアーオブジャパン</li> <li>・近年観光地として伸びている …等</li> </ul>
第5位	交通の利便性に関すること	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターチェンジが近い</li> <li>・交通の便がよい、高速インターが近い、日本全国に通じる</li> <li>・車があれば買い物、医療に不便がない …等</li> </ul>
第6位	商店やグルメに関すること	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食店が多いところ ・大型スーパーが3つもある</li> <li>・道の駅で地元野菜をたくさん買える</li> <li>・鮎がうまい ・美味しいとんちゃん …等</li> </ul>
第7位	教育・保育に関すること	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が落ち着いた</li> <li>・高校も大学（森林アカデミー）もある</li> <li>・小学生すれてない</li> <li>・保育園、幼稚園に入りやすい、選べる …等</li> </ul>
第8位	安全・安心に関すること	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所の人との関係があり、安心して暮らせる</li> <li>・治安が良く静かに生活ができる</li> <li>・地震をはじめ、自然災害に強い</li> <li>・犯罪が少ない …等</li> </ul>
第9位	立地や規模に関すること	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市がコンパクトでまとまりやすい</li> <li>・市の面積が小さく、行政効率が良い</li> <li>・生活圏内がほどよく狭い</li> <li>・日本の真ん中にある …等</li> </ul>
第10位	行政施策に関すること	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木育の先進地</li> <li>・子育て支援が充実</li> <li>・支援員など市費の職員を早くから充実してきた</li> <li>・諸問題があっても対応が早いこと …等</li> </ul>
—	その他	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副市長と同級生の野口五郎の出身地</li> <li>・木工職が人いっぱいいる</li> <li>・落ちつけるところ …等</li> </ul>
合計		217	

良いところとしては**自然や歴史・文化**に関するものが多くあがっています。

特に、**歴史・文化**に関しては、世界遺産のことや、観光に生かされていることを誇りに感じている人が多いことがうかがえます。

また、人柄の良さや活動の活発さ（人に関すること）や、暮らしの中で利便性が高いこと（交通の利便性に関すること、商店やグルメに関すること）など、美濃市に暮らす人ならではの意見も多く出されています。

## 2 ワークショップについて

全体のテーマ

# 美濃市の10年後（20年後）の姿について

～少子・高齢化などの現状データからみて、10年後（20年後）をどう考えるのか、どうなったらよいのか、そのためになにをしたらよいか～

(1)全体のスケジュール

回	内容
全体会 第1回 (9月)	<p><u>①オリエンテーション</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画について説明</li> <li>・ワーキング・グループ会議の進め方について説明</li> </ul> <p><u>②グループごとの意見交換</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介</li> <li>・テーマ「美濃市の良いところ」に基づき意見交換、交流</li> </ul>
第2回 (10月)	<p><u>①分野別の内容、現状についての概要説明</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存計画の各分野の確認、各分野の統計データ等の説明</li> </ul> <p><u>②KJ法によるワークショップ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各分野において、少子・高齢化などの現状データからみて、10年後（20年後）をどう考えるのか、どうなったらよいのか、について意見出しのグループワークを行う。</li> </ul>
第3回 (11月下旬)	<p><u>①前回の振り返り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回で議論された「どうなったらよいのか」意見の確認（追加があれば言ってもらおう）</li> </ul> <p><u>②投票形式による決定</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投票形式（シールを使い、「どうなったらよいのか」について1人3点の投票を行う）により優先順位をつける。</li> </ul>
第4回 (12月頃)	<p><u>①前回の振り返り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回で議論された「どうなったらよいのか」の重点意見の確認</li> </ul> <p><u>②KJ法によるワークショップ（必要な取組について）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「どうなったらよいのか」に対し、必要だと思う取組、または市民や地域についての役割について意見出しのグループワークを行う。</li> </ul>
第5回 (1月頃)	<p><u>①まとめ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体通してのまとめ</li> </ul> <p><u>②あいさつ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者からの感想、提言などの意見交換</li> <li>・市からのお礼のあいさつ</li> </ul>

## (2)第2回ワークショップのテーマ

第1回のワークショップでは、「美濃市の良いところ」にスポットをあてて見つめてみました。美濃市の長が少し見えてきたことと思います。そこで、次のステップとして、今回のワークショップでは、「美濃市の10年後（20年後）の姿」について、各分野において、少子・高齢化の現状からみて、「どう考え、どうなったらよいか」を考えていきたいと思ひます。

市民の皆さんの視点で、美濃市の将来についての考えを教えてください。

## (3)ワークショップの方法

今回のワークショップは、前回のグループと同じメンバーで、同じようにふせんを使ったKJ法で行ひます。

## (4)ワークショップのルールと注意点

- ・ワークショップでの検討の目的（趣旨）について意見を交換する。
- ・人の話をよく聞き、楽しく議論する。
- ・縄張り意識や肩書き、立場からではなく、自分の考えを話す。
- ・非難や愚痴、文句ではなく、建設的な意見を交換する。
- ・思い込みや強がりではなく、最後まであきらめず自分の考えを理解してもらおう。
- ・全員が発言できるよう、話は簡潔にまとめ、発言が長時間にならないようにする。
- ・ふせん紙に記入したことだけが議事録として記録されるため、発言したいことは必ずふせん紙に記入する。

注：「10年後（20年後）の美濃市について」を各分野に考えてもらうため、現在の個別事項や個別の要望についてはお答えしませぬ。

## <ワークショップのやり方（KJ法）のおさらい>

### ① 1人ひとり、意見カードを作成する。



- ①「ふせん」（自由に貼ったり、はがしたりすることができるメモ用紙）を1人10枚程度配布します。
- ②テーマに沿った内容を、1つのふせんに1つ、記入していきます。（同じふせんに2つの意見を書くと、あとで意見の分類ができなくなるので注意してください。）

### ② 自分の意見カードを読み上げながら発表する。



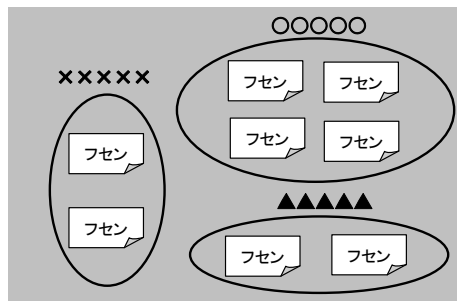
※必ず全員が発言してください。

- ③ふせんに意見を書き終わったら、一人ひとり書いた意見を発表しながら、模造紙にふせんを貼っていきます。その際、なぜそう思ったか、その背景についても述べて下さい。
- ④他の人の意見を聞いて、ひらめいたことがあれば、再度ふせんに意見を書いて追加して下さい。

### ③ 意見をグループ化する。



- ⑤意見が出たら、今度は似たような意見のふせんを整理・分類していきます。
- ⑥ある程度ふせんが整理・分類できてきたら、個々のグループの内容がわかるように、タイトルをつけて下さい。
- ⑦可能であれば、グループ化された内容の相関関係も書いてください。



## 3 既存計画の確認及び美濃市の現状データについて

【資料2】「美濃市の現状データ」及び

【資料3】「美濃市第5次総合計画抜粋資料」にて説明